



がん高度実践看護師WG講演会 in Tokushima
2020年度がん看護インテンシブコースⅡ

がん患者のライフステージの様々なニーズに
応える高度な看護実践の展開

がん治療と妊孕性温存の課題とがん患者に対する 高度な看護実践



岩佐 武 先生 13:10～14:10

(徳島大学大学院医歯薬学研究部産科婦人科学分野・教授)

「がん治療と妊孕性温存に関する現状と課題」



太田佳男先生 14:10～15:10

(岡山大学病院腫瘍センター がん看護専門看護師)

**「AYA世代男性がん患者の妊孕性温存に関する看護支援
～男性がん看護専門看護師の立場から～」**

2020年12月19日(土)

13:00～15:30

WEB開催

**※参加費無料ですが、事前申し込みが必要です
(先着90名様まで)**

**参加締切
12月11日**まで

参加申し込み先：

徳島大学大学院医歯薬学研究部 事務局

メールアドレス：ganpuro2020@gmail.com

※申込：1.御所属，2.御氏名を本文中にご記載の上，メールにてお申込みください。

主催：高知県立大学大学院看護学研究科 徳島大学大学院医歯薬学研究部保健科学教育部
岡山大学大学院保健学研究科 広島大学大学院医系科学研究科 山口大学大学院医学系研究科保健学専攻

■講師紹介

岩佐 武 先生

徳島大学医学部をご卒業後、2007年には徳島大学大学院博士課程修了、2011年にはカリフォルニア大学バークレー校に留学、2019年より徳島大学周産母子センターの講師を経て、2020年より徳島大学大学院医歯薬学研究部産科婦人科学分野の教授としてご就任されています。大学病院では主に生殖医療を担当され、体外受精・顕微授精などの生殖補助医療をはじめ、これらの技術を応用したがん生殖や着床前遺伝学的検査にも今後積極的に関わられ、臨床現場の最前線でご活躍されています。

所属学会

産婦人科専門医・指導医、生殖医療専門医・指導医、内分泌代謝専門医・指導医、女性ヘルスケア専門医

■内容

体外受精・顕微授精などの生殖補助医療の基礎、およびこれらの技術により実施可能となった「がん生殖」について、徳島県内での取り組みを含めてご講演を頂き、また、本年より開始が予定されている助成金制度についても説明して頂く予定です。

■講師紹介

太田 佳男 先生

川崎医療福祉大学医療福祉学部保健看護学科をご卒業後、京都大学医学部附属病院、岡山大学病院看護師として勤務されています。その途中期間には中学校・高校で養護教諭もされております。2014年には岡山大学大学院保健学研究科博士前期課程へ進学し2017年に修了、同年にがん看護専門看護師の資格を取得されております。

現在は岡山大学病院の緩和ケアチームに所属し、がん看護外来でAYA世代のがん患者の方々へ支援を中心にご活躍されています。

所属学会

日本がん看護学会、日本緩和医療学会、日本専門看護師協議会

■内容

AYA世代のがん患者さんは、ライフイベントや発達課題が多いため多様な支援が必要となりますが、多診療科がまたがって介入している場合が多いにも関わらず、継続して関わるサポートが少ない現状があります。特に、治療選択と共に妊孕性温存療法の意思決定をする機会に対して、AYA世代男性がん患者さんへの妊孕性温存療法の看護支援の実際を男性がん看護専門看護師の立場からお話をして頂く予定です。